



# よつば小だより

令和6年10月29日 第25号  
守口市立よつば小学校  
06-6901-5425  
発行責任者 校長 横山 美香



教育目標： 志をもってよく学ぶ 心ゆたかな たくましい子

## ～学力向上に向けた取り組み～

4月18日に実施された、全国学力・学習状況調査とすくすくウォッチ(小学生すくすくテスト)の調査結果をよつば小だより第23号と第24号でお伝えしました。これらの調査の結果は、特定の学力や学習状況の一部分と受けとめており、学校の教育活動の一側面でしかないと考えています。第25号では、これらの調査結果を踏まえ、よつば小学校の学力向上に向けた取り組みについてお伝えし、できることを学校と家庭が連携して一緒に考えていく機会にしたいと思います。

### ◎調査の結果より

#### 成果



- ・全国学力・学習状況調査の教科に関する調査では、無回答率が、国語で平均 7.6%（昨年度 9.8%）で少なくなっています。問題を解いてみようとする児童が増えています。
- ・記述式の問題において、無回答率が低くなっており、書く力がついてきています。
- ・「自分の考えをノートに書いている」「課題解決に向け自分で考え、自分から取り組む」「話し合いをするとき、友達の意見を最後まで聞いている」の肯定的回答が高くなっています。また、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」の肯定的回答が国や府よりも高いです。日々の授業改善が進んできていると考えられます。
- ・「分からないことや詳しく知りたいことあった時に、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」の肯定的回答が約 7 割、「わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットで調べている」の肯定的回答が約 8 割です。自分で学び方を考え、調べてわかろうとしています。

#### 課題

- ・国語・算数・理科とも記述式の問題の正答率が低いです。
- ・指定された条件で説明することに課題がみられます。
- ・ $540 \div 0.6$  の計算やローマ字を読むなどの技能の定着に課題があります。
- ・「自分の考えを積極的に発言している」の肯定的回答が約 5 割、「自分と違う意見について考えるのは楽しいですか」の肯定的回答が約 6 割となっており、自らの思考を深めることに消極的です。
- ・1日当たりの勉強の時間（30分以上）は、国が約 8 割、府が約 7 割、本校が約 6 割で、課題が見られます。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」の肯定的回答が 79.8% と国や府よりも低くなっています。



## ◎今後の取り組み

### これまでの取り組みの継続

- ・学習前に学習の流れを子どもと共有し、見通しを持った学習活動になるようにする。
- ・学習のめあてを意識し、振り返り活動の充実を図る。
- ・校内授業研究会において、授業改善の取り組みを継続する。
- ・子どもが自分で選択、決定できる場面をつくる。



### 「書く」活動を進める

- ・朝の時間を活用した「書く活動」を継続する。
- ・自分の書いた文章を伝え合う活動を積み重ね、自分の文章のよさに気付かせる取り組みを進める。



### 家庭での自学自習力を高める

- ・家庭で、宿題以外の勉強ができるように自学自習ノートの取り組みをさらに進める。
- ・自学自習ノートを定期的に紹介していく。

## ◎家庭へのお願い

### 学校と保護者が相談し合える関係づくり

- ・学校だより等で学校での取り組みを発信していく。
- ・学校と家庭が連携を深めていく。



### 規則正しい生活の継続

- ・毎日、朝ごはんを食べる、毎日同じくらいの時刻に寝る・起きるなど、規則正しい生活を送るようにする。
- ・ゲーム機、タブレット、スマートフォン等で動画を見たり、ゲーム等で遊んだり、SNSをしたりする時間が長時間にならないように、使用する時間を決める。

### 学習の進度や状況を共有する

- ・毎日の宿題のチェックをする。
- ・家庭で宿題の確認をする。（音読を聞く、課題ができているかなど）
- ・自分で決めた自学自習ができるように一緒に内容を考える。



### 子どもと向き合う時間を確保する

- ・ねばり強く子どもの話を聞く。子どもにねばり強く話をさせる。（最後まで、分かるように話をさせる）
- ・普段の生活の中で、子どもに考えさせるような言葉を投げかける。（「どうして？」や「なぜ？」など）